

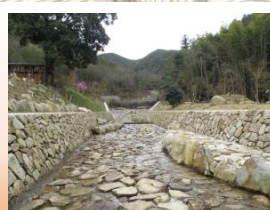
伽藍山 山歩きガイド

歴史深い古道をゆっくり散策



※駐車場は、西方院及び支援企業からのご提供です。感謝の心持で、ご利用ください。
※駐車及び登山中の事故事件については、地権者及び本会は負いません。

出典：地理院地図（電子国土web）



伽藍山(がらんやま)とは？

- 737年(天平9年)伽藍山山頂に極楽寺が建立。本堂及び12坊が行基菩薩により開基されたといわれる。江戸時代に下山して極楽寺、西方院、大光院、西明院、四王寺が現存する。西方院には伽藍山から降ろされた仏像が数点現存する。



- 伽藍山山頂付近には、十二天の石刻文字が見られる。山岳仏教のなごりが残る。
- 戦国時代。毛利氏の影響下にある猿掛城の山城として伽藍山(おんがらん)及び雌伽藍山(めんがらん)が山城として利用され、山頂周辺には土塁が残されている。
- 鷲(さぎ)の尾の伝承。鷲の尾は、猿掛城の番屋址で「江良鷲の尾合戦」の際に、この地にあった梵鐘が小田川に転がり落ちて、その後、笠岡市の持宝院に移されたとの碑文が残る。鷲の尾山頂付近には石積が残り、番屋址の痕跡がみられる。
- 伽藍山山頂は整備され、東は倉敷市真備町、西は井原市、北は高梁市の山並みまで見渡せる展望が開けています。



伽藍山に登ってみよう！！

- 山腹には古墳の痕跡もあり、寺院、山城伝承など太古から歴史深い山脈です。昔の人が歩んだ古道を同じ景色を見ながらゆっくり歩いてみませんか？
- 登山口は、西方院・貴布祢神社・藤ヶ峠から入山できます。子供から元気な年配者まで気軽に楽しめるハイキングコースです。
- 伽藍山山頂は、東西北が広範囲に見渡せる展望台となっています。メインルートは、西方院東側登山口からの登山をお勧めします。片道約30分で山頂に到着します。
- 登山道では急な斜面にはロープを、進行方向には目印リボン、分岐点には案内看板を設置して、安全な登山道の整備を行っていますが、枯木、倒木、崖の崩落など周辺に十分注意してください。急な斜面をロープを握って登るのは、楽しい思い出になることでしょう。ロープの強度の確認もお忘れなく。
- 登山前後には、周辺の寺院、神社を訪問したり、飲食店を訪れることをお勧めします。伽藍山のふもとをゆったり巡ってみるのもいいでしょう。



※駐車場は当会の支援企業及び西方院による提供です。感謝の心持で、ご利用ください。但し、駐車場でのご事故事件に関しては自己責任にてご対応ください。地権者及び当会はその責を負いません。

※山野には所有者がいます。登山道以外の場所に立ち入らない、植林を傷めない、果実山菜タケノコ等を採取しない、ゴミを投棄しない、火気厳禁などにご配慮ください。

※登山中の怪我・体調不調などの疾病、自然災害に於ける倒木・落石・崩壊による被害、害虫の被害、などの責任は登山者本人にあり、地権者及び当会はその責を負いません。

※このガイドマップは、「矢掛の山 登山詳細図」(2014年3月31日発行・やかげ宿 守屋益男 作成) 及び「ゼンリン住宅地図 矢掛町」(2019年8月発行)を参考文献として、その地図に記述ある小道を実際に歩き地理院地図(電子国土web)に表記したものです。



地理院地図
現在地表示
GPS対応

伽藍山
山歩きガイド
web版

輝け！

江良元気会

2022年7月 第3版 問合せ：090-3636-5984 (担当：奥村)

伽藍山 探検

検索